

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

家庭的保育事業 伊達 洋子

今回、第三者評価を受けるきっかけになったのは、来年度から当園が新体制となるため、現状の保育で良いのか、今の運営状況で良いのか、これまでの実践を今一度振り返り、ご指導を受けようと考えたからです。

まず、職員で勉強会を行い、一つ一つの評価項目について検討することから始めました。話し合いを重ねる中で、経験による受け取り方の違いや微妙な考え方の違いも明らかになりました。一緒に確認をしながら見直しをした結果、家庭的保育だからこそ大切にしなければならないことも見えてきましたし、全職員が同じ方向で取り組んでいくことを見出すことができました。

環境について見直し改善をすることで、よりよい環境の中、保育に取り組むことができるようになりました。また、園の特色である農園での食育や地域との関わり等の取り組みを高評価していただきました。これからも地域との関わりを大切にしながら、四季折々に子ども達と自然にふれ、恵まれた環境をさらに生かしていきたいと思います。

子ども達が毎日、園で安定して過ごし、保護者が安心して就労できるよう、我が園の理念である“保護者の信頼のもと、子どもを真ん中にした保育”を貫きたいと思います。

第三者評価を受け、様々なご指導をしていただいて良かったと思うとともに、これがゴールではない、むしろスタート地点ではないかと感じております。

委員の先生方、親身なご指導と多くの学びをいただきありがとうございました。